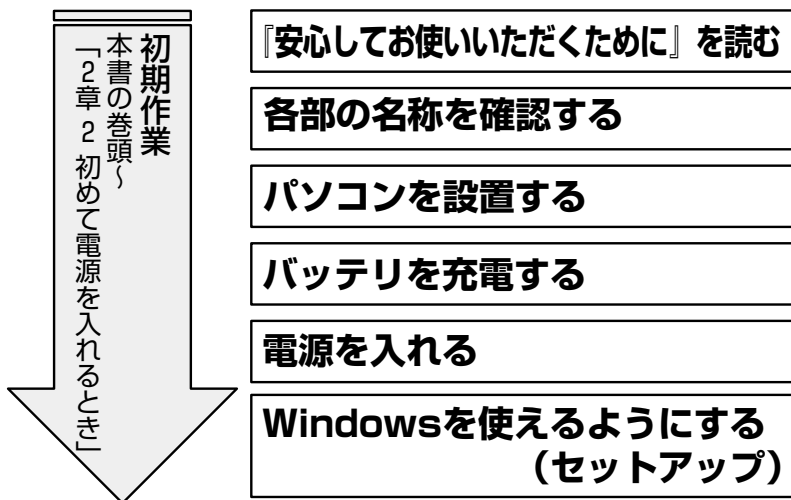
マニュアルの使いかた

1 初めて電源を入れるとき－取扱説明書（本書）

☞ 目次は次ページ

初期作業
本書の巻頭～「2章 2 初めて電源を入れるとき」

- 『安心してお使いいただくために』を読む
- 各部の名称を確認する
- パソコンを設置する
- バッテリを充電する
- 電源を入れる
- Windowsを使えるようにする（セットアップ）

Windowsのセットアップ終了後、Windowsの使いかたについては、各システムに付属の説明書（『ファーストステップガイド』など）または『Windowsのヘルプ』をご覧ください。

2 初期作業が終わったら－オンラインマニュアル

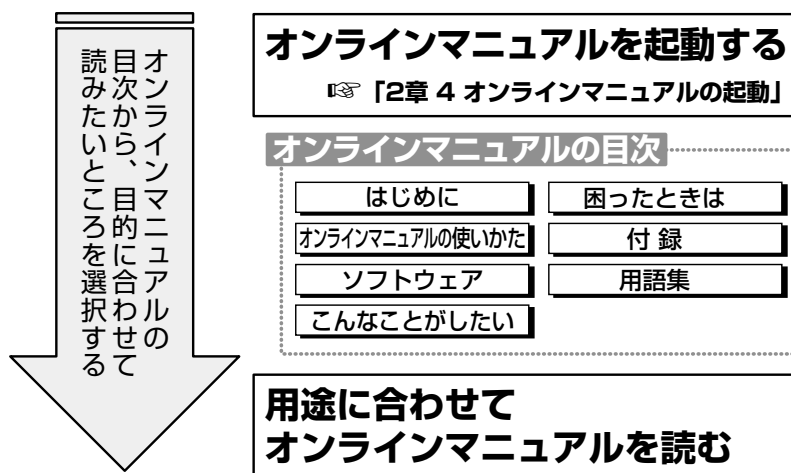
オンラインマニュアルとは、画面上で確認できる電子マニュアルです。

オンラインマニュアルの目次から、目的に合わせて読みたいところを選択する

- オンラインマニュアルを起動する
  ☞「2章 4 オンラインマニュアルの起動」

オンラインマニュアルの目次

はじめに	困ったときは
オンラインマニュアルの使いかた	付 録
ソフトウェア	用語集
こんなことがしたい	

- 用途に合わせてオンラインマニュアルを読む

本書の上記以外の内容は、必要に応じてお読みください。
また、同梱されている他の説明書や、周辺機器に添付されている説明書も必要に応じてお読みください。

リリース情報について

本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。
ご覧になるには［スタート］メニュー-［はじめに］-［リリース情報］を選択します。

目次

4章　ハードウェアについて 95

はじめに

このたびは、DynaBook Satellite（サテライト）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。
本書は本製品の基本的な取り扱いかたをできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。
また、ご購入のモデルにより、システム（OS）が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。
また本製品には、このマニュアルの他に、DynaBook Satellite（サテライト）オンラインマニュアル（以降、本書中ではオンラインマニュアルと記述します）が用意されています。便利な設定やプレインストールされているアプリケーションの使いかたなどは、オンラインマニュアルをご覧ください。
☞ オンラインマニュアル ➪「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」
また、『リリース情報』には、本製品を使用するにあたっての注意事項などが記述されていますので、必ずお読みください。
☞ リリース情報 ➪「マニュアルの使いかた リリース情報について」

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

省電力設定に関しては、「5 章 1 消費電力を節約する」をご覧ください。

モデム使用時の注意事項

＊モデム内蔵モデルのみ
本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。

●使用できない地域

内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロベニア、タイ、台湾、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、マルタ、南アフリカ、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、レバノン

（2001年1月現在）

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。
内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。
内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。
上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承願います。

●自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

＊内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。

- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- 内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる地域にあわせてモデムの地域設定が必要です。
  ☞《オンラインマニュアル》

FCC information

Product name : DynaBook Satellite 4600 series
Model number : PS460*

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

❏ Reorient or relocate the receiving antenna.

❏ Increase the separation between the equipment and receiver.

❏ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

❏ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Toshiba is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or external monitor port, PS/2 mouse port, PS/2 keyboard port, parallel port, USB port, video-out port, microphone jack and headphone port, serial port, lan port, modem port. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Toshiba or parties authorized by Toshiba could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address: Toshiba America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone: (949) 583-3000

EU Declaration of Conformity
EU Übereinstimmugserklärung
Déclaration de conformité UE
Declaración de conformidad de la UE
Dichiarazione di conformità UE
EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PS460* conforms to the following Standards:
Toshiba erklärt, daß das Produkt: PS460* folgenden Normen entspricht:
Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PS460* est conforme aux normes suivantes:
Toshiba declaran que el producto: PS460* cumple los sigulentes estándares:
Toshiba dichiara, che il prodotto: PS460*, é conforme alle seguenti norme:
Toshiba intygar att produkten: PS460* överensstämmer med föijande normer:

Supplementary Information:	"The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC."
Weitere Informationen:	"Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG."
Informations complémentaires:	"Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE."
Información complementaria:	"El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE."
Ulteriori informazioni:	"Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG."
Ytterligare information:	"Produkten uppfyller kraven enligt lägspänningsdirektiver 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC."

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

TEAC CD-ROM ドライブ CD-224E

安全にお使いいただくために

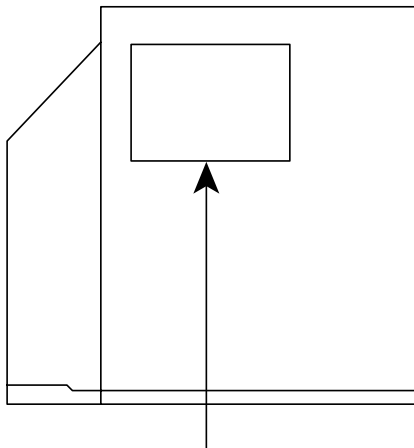
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION - INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS
VORSICHT - UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN AUCH NICHT MIT OPTISCHEN INSTRUMENTEN
VARNING - OSYNL IG LASERSTRĀLNING NĀR DENNA DEL ĀR ŌPPNAD STIRRA EJ IN I STRĀLEN OCH BETRAKTA EJ STRĀLEN MED OPTISKA INSTRUMENT

Location of the required label

CERTIFICATION: THIS PRODUCT COMPLIES WITH DHHS RULES 21 CFR CHAPTER 1, SUBCHAPTER JAPPLICABLE AT DATE OF MANUFACTURE.

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

TEAC CORPORATION
3-7-3, NAKA-CHO,
MUSASHINO-SHI,
TOKYO, JAPAN

東芝 DVD-ROM ドライブ SD-C2402

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で
   “クラス１レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

   CLASS 1 LASER PRODUCT
   APPAREIL À LASER DE CLASSE 1
   LASER KLASSE 1 PRODUKT
   TO EN 60825-1
   クラス１レーザー製品

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION
VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

ATTENTION
RAYONNEMENT VISIBLE ET INVISIBLE LASER EN CAS D'OUVERTURE. NE PAS REGARDER DANS LE FAISCEAU. NI À L'OEIL NU NI À L'AIDE D' INSTRUMENTS D'OPTIQUE.

VORSICHT
SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN AUCH NICHT MIT OPTISCHEN INSTRUMENTEN.

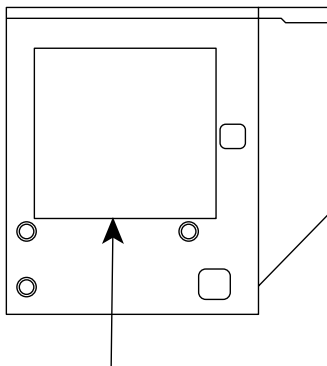
注　意
ここを開くと可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり触れたりしないこと。光学機器で直接ビームを見ないこと。

ADVARSEL
SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. SE IKKE IND I STRÅLEN-HELLER IKKE MED OPTISKE INSTRUMENTER.

ADVARSEL
SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. STIRR IKKE INN I STRÅLEN ELLER SE DIREKTE MED OPTISKE INSTRUMENTER.

VARO!
AVATTAESSA OLET ALTTINA NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖN LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ TUIJOTA SÄTEESEEN ÄLÄKÄ KATSO SITÄ OPTISEN LAITTEEN LÄPI.

VARNING
SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STIRRA EJ IN I STRÅLEN OCH BETRAKTA EJ STRÅLEN MED OPTISKA INSTRUMENT.

Location of the required label

PRODUCT IS CERTIFIED BY THE MANUFACTURER TO COMPLY WITH DHHS RULES 21 CFR SUBCHAPTER J APPLICABLE AT THE DATE OF MANUFACTURE.

MANUFACTURED:

TOSHIBA CORPORATION
1-1, SHIBAURA 1-CHOME
MINATO-KU, TOKYO 105-8001,
JAPAN

Trademarks

・Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・PS/2は、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
・SoundBlasterは米国Creative Technology社の商標です。
・Intel、Pentium、Celeron、インテル、SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
・Ethernet、Fast Ethernetは富士ゼロックス社の登録商標または商標です。
・CardWizardは米国SystemSoft Corporationの商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

お願い

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
・記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
・本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
・購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。
パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝PCダイヤル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本書の読みかた

記号の意味

⚠ **警 告**　**・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷(じゅうしょう)を負う可能性があることを示します。**

⚠ **注 意**　**・誤った取り扱いをすると、人が傷害(しょうがい)を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。**

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

・知っておくと便利なことを説明しています。

● 98 2000 NT

本書は、Windows 98、Windows 2000／NT モデルに共通の取扱説明書です。
それぞれの固有の操作や機能名称を示すときは次のマークを使用しています。
ご購入の製品に応じた部分をお読みください。

98　Windows 98 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

2000　Windows 2000 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

NT　Windows NT の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

☞　この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照》

（注）補足説明をしています。

画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total　=　××××KB

このように画面上または本文中の文字をXで表している場合は実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。

Y キーを押す → [Y ん] を押してください。

1 キーを押す → [! 1 ぬ] を押してください。

Space キーを押す → [　　] （スペースキー）を押してください。

操作の表しかた

操作や作業は、次のように示します。

【例】

● 操作が1つで済む場合は、次のように示します。

Y キーを押す

● キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Fn + Ins キーを押す

この場合は、Fn キーを押したまま Ins キーを押します。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム ....特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
....アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows 98 ....Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。

Windows 2000..................Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Windows NT........................Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 operating system 日本語版を示します。

Windows...............................Windows 98、Windows 2000、Windows NT を示します。

MS-IME ....Microsoft® IME2000、Microsoft® IME98、Microsoft® IME97 を示します。

モデム内蔵モデル ....LAN とモデムが内蔵されているモデルを示します。

DVD-ROM モデル ....DVD-ROM ドライブが内蔵されているモデルを示します。

その他不明な用語については、《オンラインマニュアル 用語集》をご覧ください。

☞ オンラインマニュアル ➪「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」

日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

警 告
・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。
ショート、発煙のおそれがあります。

注 意
・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。
製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
・持ち運ぶときは、必ず電源を切り、電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。かばんの中など、本製品の発する熱がこもりやすい場所では、内部の温度が上がり、火災、故障のおそれがあります。
・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。
パソコンが落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。

● 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

● ディスプレイは静かに閉じてください。

● 使用できる環境は次のとおりです。
温度５～35℃、湿度20～80%

● 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。

フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

●フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。

●スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。

●直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。

●本やノートなど重いものを上に置かないでください。

●使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環　境	使用時	保管時
温　度	5～35℃	4～53℃

●ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。

●ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。

●保管の際は、プラスチックケースに入れてください。

●食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。

● 3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に 1 回を目安にフロッピーディスクドライブをクリーニングしてください。

CD ／ DVD

CD ／ DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD ／ DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD ／ DVD を読み込むことができなくなります。
- CD ／ DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD ／ DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD ／ DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD ／ DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD ／ DVD の表面に文字などを書かないでください。
- CD ／ DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。
  円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。
  ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。
- CD ／ DVD の表面にシールなどを貼らないでください。CD ／ DVD が正常に回転しなくなり、CD ／ DVD の損傷などの原因になります。

CD-ROM ドライブ／ DVD-ROM ドライブ

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。
市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に 1 回を目安にクリーニングしてください。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡って AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼって拭きます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。
コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、電源を入れる前にお買い求めの販売店、または保守サービスに連絡し、交換を依頼してください（有償）。

液晶ディスプレイ

画面の手入れ

- 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。
  表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
  液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

サイドライト用FL管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。

表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

アキュポイントⅡ（ポインティング装置）

マウスポインタを動かすポインティング装置をアキュポイントⅡといいます。
アキュポイントⅡは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。
携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。
また、次の場合、マウスポインタが移動することがあります。この場合は、マウスポインタが動かなくなるのを待ってから、アキュポイントⅡを使用してください。

・電源を入れたとき
・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離したとき
・温度が急激に変化したとき

データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
本製品は次のような場合、スタンバイ機能（Windows 98 ／ 2000）、サスペンド機能（Windows NT）または休止状態（Windows 98 ／ 2000）が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長時間使っていなかったために、バッテリ（バッテリパック、時計用バッテリ）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリ交換のとき
- 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
- バッテリ駆動で使用しているときにバッテリパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失など、ハードウェアやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。
  電源を切った後も、Disk LEDが点灯中は動かさないでください。
- 電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。
  電源スイッチロックを解除して持ち運んだ場合、誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。
  この場合、バッテリ駆動になりますので、使用するときにバッテリが消耗している原因になります。
- かばんなどにパソコンを収納するときは、必ず電源が切れていることをご確認ください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
  やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。
  また、フロッピーディスクやCD ／ DVD がセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
  故障の原因になります。

カスタム・リカバリ CD ／リカバリ CD について

カスタム・リカバリ CD ／リカバリ CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

☞ 使用方法について ➪「7 章 再セットアップ」

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

AC アダプタの仕様は次のとおりです。

入力：AC100V ～ 240V（0.75A ～ 0.35A） 50/60Hz
出力：DC15V、4A

また、消費電力の仕様は次のとおりです。

最大消費電力： 60W（電源スイッチオン時）
最小消費電力： 約 11.5W（電源スイッチオン時）
約 2.5W（電源スイッチオフ時）

パソコンの電源を切った後に、電源コードを抜くと消費電力はゼロになります。
本機器は、「機器のリサイクルに適した設計」となっています。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリパック（充電式リチウムイオン電池）
  長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
  充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリパックと交換してください。
- 時計用バッテリ（交換は有償です）
- アキュポイントキャップ
  消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。

廃棄について

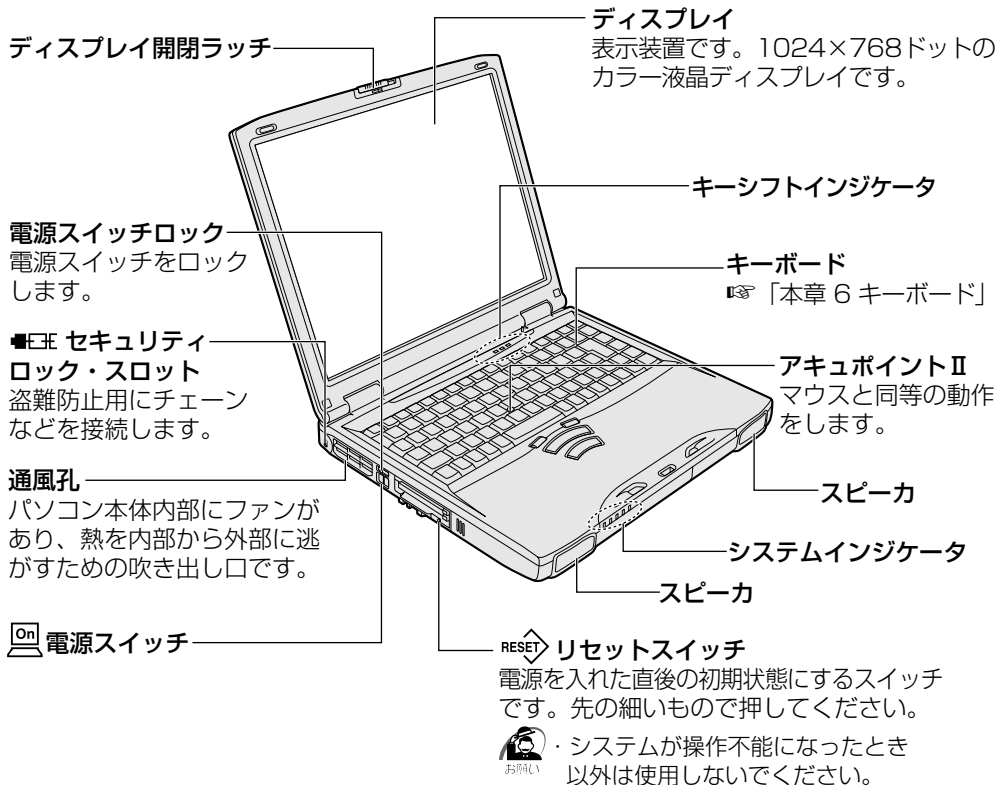
本装置の廃棄については、別冊の『安心してお使いいただくために』をご覧ください。

1

電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

1 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。周辺機器を取り付ける場所については、「本章 2 周辺機器の接続場所」で説明します。

インジケータ

それぞれは、次の状態を示します。

キーシフトインジケータ		
A	Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」 ☞「本章 6- 入力に関する制御キー」
(矢印)	Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」 ☞「本章 6- Fn キーを使った特殊機能キー」
(数字)	Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」 ☞「本章 6- Fn キーを使った特殊機能キー」
システムインジケータ		
(DC IN)	DC IN LED	電源コードの接続　☞「本章 3-3 電源に関する表示」
On	Power LED	電源の状態　☞「本章 3-3 電源に関する表示」
(バッテリ)	Battery LED	バッテリの状態　☞「本章 4-3 バッテリに関する表示」
(ディスク)	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている
(FDD)/(CD)	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスクドライブかCD-ROMドライブ／DVD-ROMドライブにアクセスしている

コントロールボタン
アキュポイントⅡを使う場合の実行、キャンセルボタンです。
マウスボタンと同等の動作をします。

モジュラージャック
＊モデム内蔵モデルのみ
モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、モデム機能を使用します。

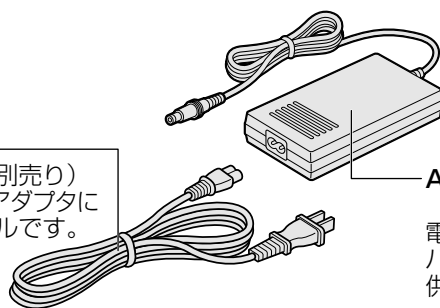
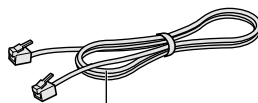
フロッピーディスクドライブ
3.5型の2HD、2DD形式のフロッピーディスクが使用できます。

ボリュームダイヤル
ヘッドホンやスピーカの音量を調節します。音量を大きくしたいときは奥に、小さくしたいときは手前に回します。

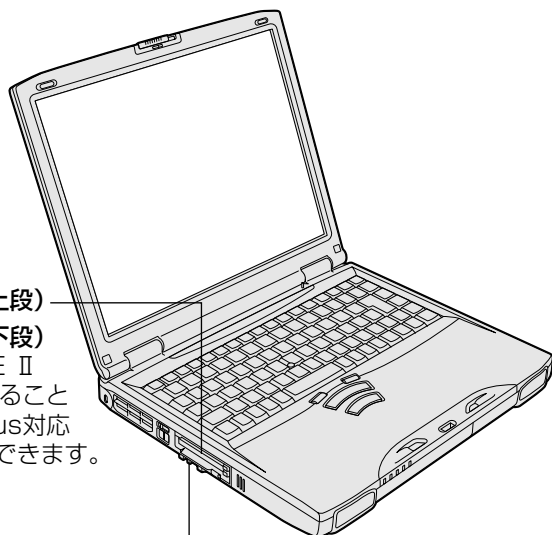
スクロールボタン
画面のスクロールなどができます。

電源コネクタ
付属のACアダプタを接続します。

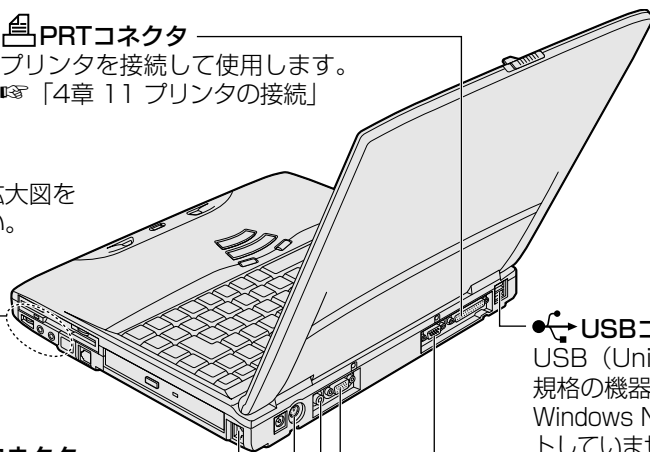
赤外線ポート
赤外線ポートを使って、IrDA方式の赤外線ポートを持つ他の機器と通信が行えます。赤外線通信を行う機器は、同じ通信用アプリケーションを使用してください。

CD-ROMドライブ、またはDVD-ROMドライブ
内蔵されているドライブの種類は、ご購入モデルによって異なります。
☞ 使用できるCD／DVDについて
➪「4章 4 CD-ROMドライブ／DVD-ROMドライブ」

周辺機器の接続場所

1 PCカードスロット1（上段）
0 PCカードスロット0（下段）
PC Card Standard TYPE Ⅱ/Ⅲ準拠のカードを取り付けることができます。また、CardBus対応カードを取り付けることができます。
☞「4章 5 PCカード」

PCカードロック
PCカードを装着しているときにはずれないようにします。
セキュリティロックしたときに有効です。

PRTコネクタ
プリンタを接続して使用します。
☞「4章 11 プリンタの接続」

次ページの拡大図をご覧ください。

USBコネクタ
USB（Universal Serial Bus）規格の機器が取り付けられます。
Windows NT 4.0はUSBをサポートしていません。
☞「4章 9 USB対応機器の接続」

{Ether} LANコネクタ
ネットワークケーブルを接続します。

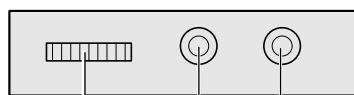
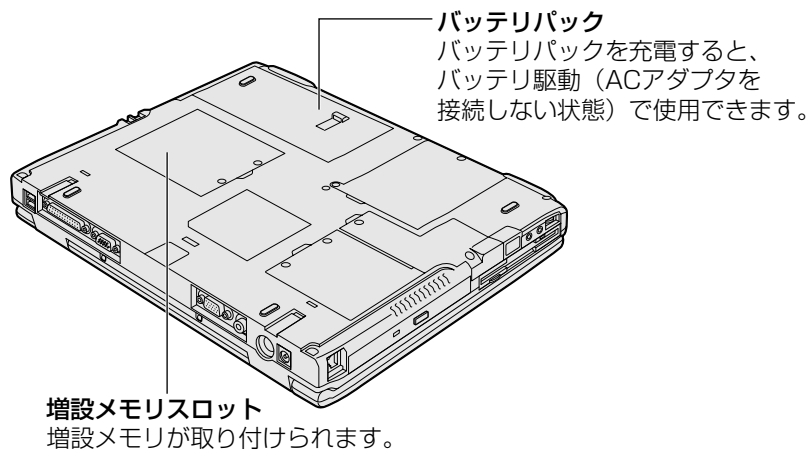
COMMSコネクタ
RS-232C規格の機器を取り付けられます。マウスなどにRS-232C規格のものがあります。
☞「4章 2 マウスの接続」

PS/2コネクタ
PS/2対応のキーボードやマウスを取り付けることができます。
接続するときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。
☞「4章 2 マウスの接続」
「4章 13 外付けキーボードの接続」

RGBコネクタ
CRTディスプレイを接続して使用できます。
☞「4章 12 CRTディスプレイの接続」

Video Out ビデオ出力端子
映像データの出力端子です。
NTSC/PAL規格対応のテレビなどを接続します。
☞「4章 10 テレビへの接続」

バッテリパック
バッテリパックを充電すると、バッテリ駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用できます。

増設メモリスロット
増設メモリが取り付けられます。

マイク入力端子
マイクロホンを接続します。マイクロホンのプラグはモノラルミニジャックタイプ(3.5φ)を使用してください。

ヘッドホン出力端子
ヘッドホンを接続します。音源はステレオで出力されます。ヘッドホンはステレオミニジャックタイプ(3.5φ)を使用してください。

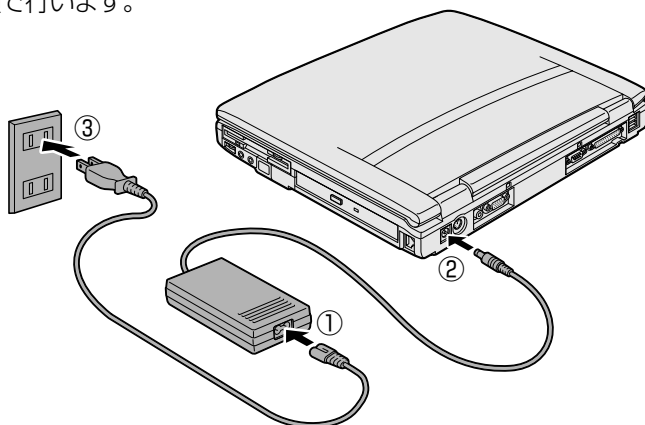
お願い
・次のような場合にはヘッドホンを使用しないでください。雑音が発生する場合があります。
　・パソコン本体の電源を入れる／切るとき
　・ヘッドホンの取り付け／取りはずしをするとき

ボリュームダイヤル
ヘッドホンやスピーカの音量を調節します。
☞「本章 7 サウンド」

③ パソコンの準備

1 電源に接続する

接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリパックを必ず取り付けておいてください。
ACアダプタ、電源コードの接続は次の図の①→②→③の順に行います。はずすときは逆の③→②→①の順で行います。

電源コードを接続したら、DC IN LEDが緑色、Battery LEDがオレンジ色に点灯するのを確認してください。

☞ 電源の入れかた ➪「2章 1 電源を入れる」

取り扱い方法

電源コード、ACアダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。

- 付属の電源コードでは、AC100 V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- 海外で使用する場合は、別途電源コードをお買い求めください。
- 傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- 必ず本体付属のACアダプタを使用してください。
  本体付属以外のACアダプタをご使用になりますと、発煙、火災のおそれがあります。
- 電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。

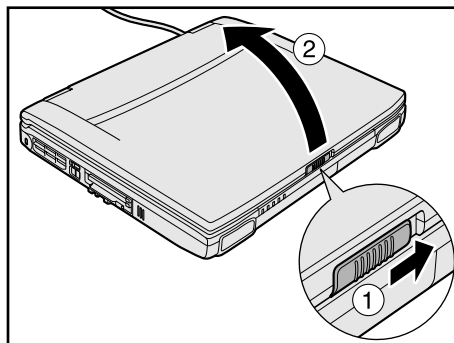
- 電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。
  感電するおそれがあります。

- ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

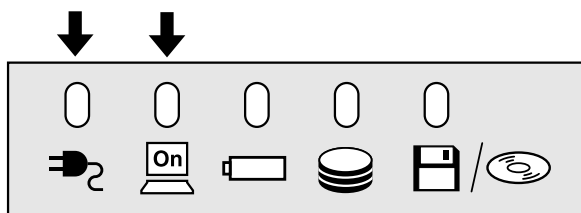
ACアダプタを接続していると、ACアダプタやバッテリが温かくなることがありますが故障ではありません。

❷ ディスプレイを開ける

1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし①、ディスプレイを静かに起こす②

この時、両手を使ってゆっくり起こしてください。

⚠ 注 意 ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。
強く閉じると、衝撃(しょうげき)でハードディスクドライブやディスプレイなどが故障するおそれがあります。
ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

③ 電源に関する表示

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、電源に関する表示です。

それぞれの意味は次のとおりです。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN LED	緑	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリ、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power LED	緑	電源ON
	オレンジで ゆっくり点滅	98 2000 ：スタンバイ中 NT ：サスペンド中
	消灯	電源OFF

バッテリの充電

1 バッテリ駆動で使うために

パソコン本体には、バッテリパックが取り付けられています。
バッテリを充電して、バッテリ駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。
バッテリ駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリパックを取り付けます。
充電を完了（フル充電）しなくても使えますが、使用できる時間は短くなります。

2 バッテリの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

充電方法

1 パソコン本体を電源に接続する

DC IN LEDが緑色に点灯してBattery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
パソコン本体にACアダプタを接続すると、電源のON/OFFに関わらず常時充電されます。

☞ 電源の接続 ➪「本章 3-1　電源に接続する」

2 Battery LEDが緑色になるまで通電する

バッテリが充電中はBattery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

☞ Battery LEDについて ➪「本節 3 バッテリに関する表示」

充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

状態	充電時間
電源ＯＮ時	約4〜10時間
電源ＯＦＦ時	約3時間

（注）周囲の温度が低いとき、周辺機器を取り付けている場合など、パソコンの使用状況によってこの時間よりも長くかかることがあります。

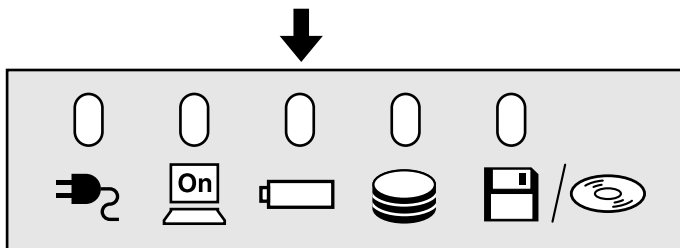
・バッテリパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。

注 意

・バッテリパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
・バッテリパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
発熱したり、サビなどのおそれがあります。
・バッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。
お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

3 バッテリに関する表示

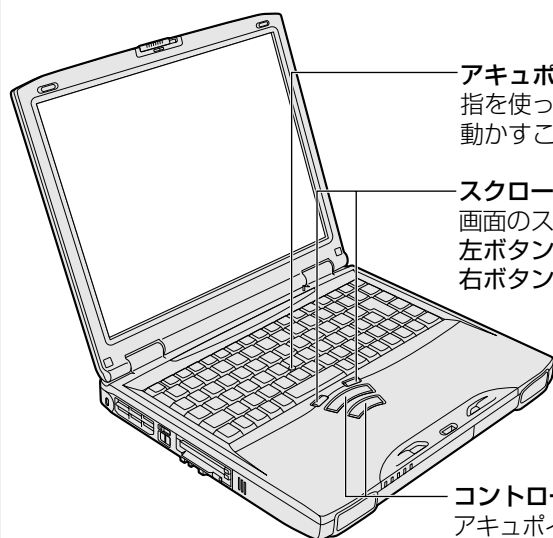
Battery LEDで確認する

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、バッテリの状態を示すアイコンです。

Battery LEDは次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	・バッテリが接続されていない ・ACアダプタが接続されていない ・バッテリ異常

☞ バッテリの詳細について ➪「3章 パソコンを持ち歩く」

アキュポイントⅡとコントロールボタンの使いかた

Windows 画面上に表示される（ ）を「マウスポインタ」といいます。アキュポイントⅡやコントロールボタンを使って、マウスポインタを操作します。アキュポイントⅡとコントロールボタンはマウスと同じ働きをします。

基本操作

キーボード中央の、アキュポイントⅡに指を置きます。アキュポイントⅡを押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

クリック	アキュポイントⅡでマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを1回押します。
ダブルクリック	アキュポイントⅡでマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを、すばやく2回続けて押します。
ドラッグアンドドロップ	上ボタンまたは下ボタンを押したまま、アキュポイントⅡでマウスポインタを移動します（ドラッグ）。 ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。 スクロールボタンを押すと、画面がスクロールします。

・次の場合、アキュポイントⅡを操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。
　・電源を入れたとき
　・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離したとき
この場合は、マウスポインタが動かなくなるまで待ってから、アキュポイントⅡを使用してください。

・アキュポイントⅡとPS/2 マウスを同時に使用するときは、ホイール付きマウスの使用をおすすめします。
・アキュポイントⅡとPS/2 マウスを同時に使用する設定をした場合、PS/2 マウスの仕様によっては、アキュポイントⅡおよびPS/2 マウスを同時に使用できなくなる場合があります。この場合は、PS/2 マウスだけの使用に設定してください。

❻ キーボード

キーボードの使いかたはソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。

Ins(インサート)<Prtsc>キー

Del(デリート)<SysRq>キー

オーバレイキー

Pause(ポーズ)
<Break>キー

BackSpace
(バックスペース)キー

Home(ホーム)キー

Enter(エンター)キー

PgUp
(ページアップ)キー

PgDn
(ページダウン)キー

Shift(シフト)キー

End(エンド)キー

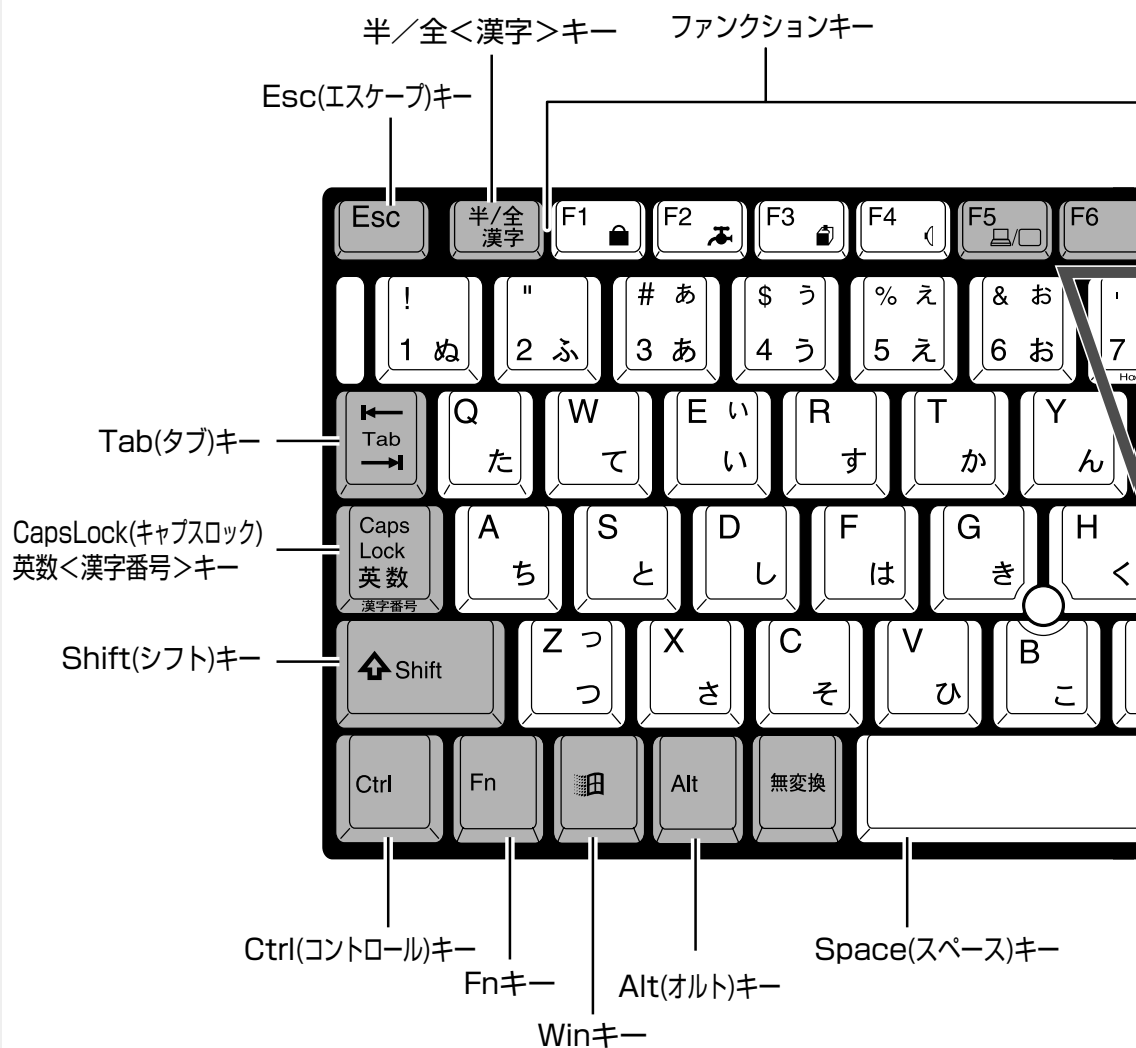
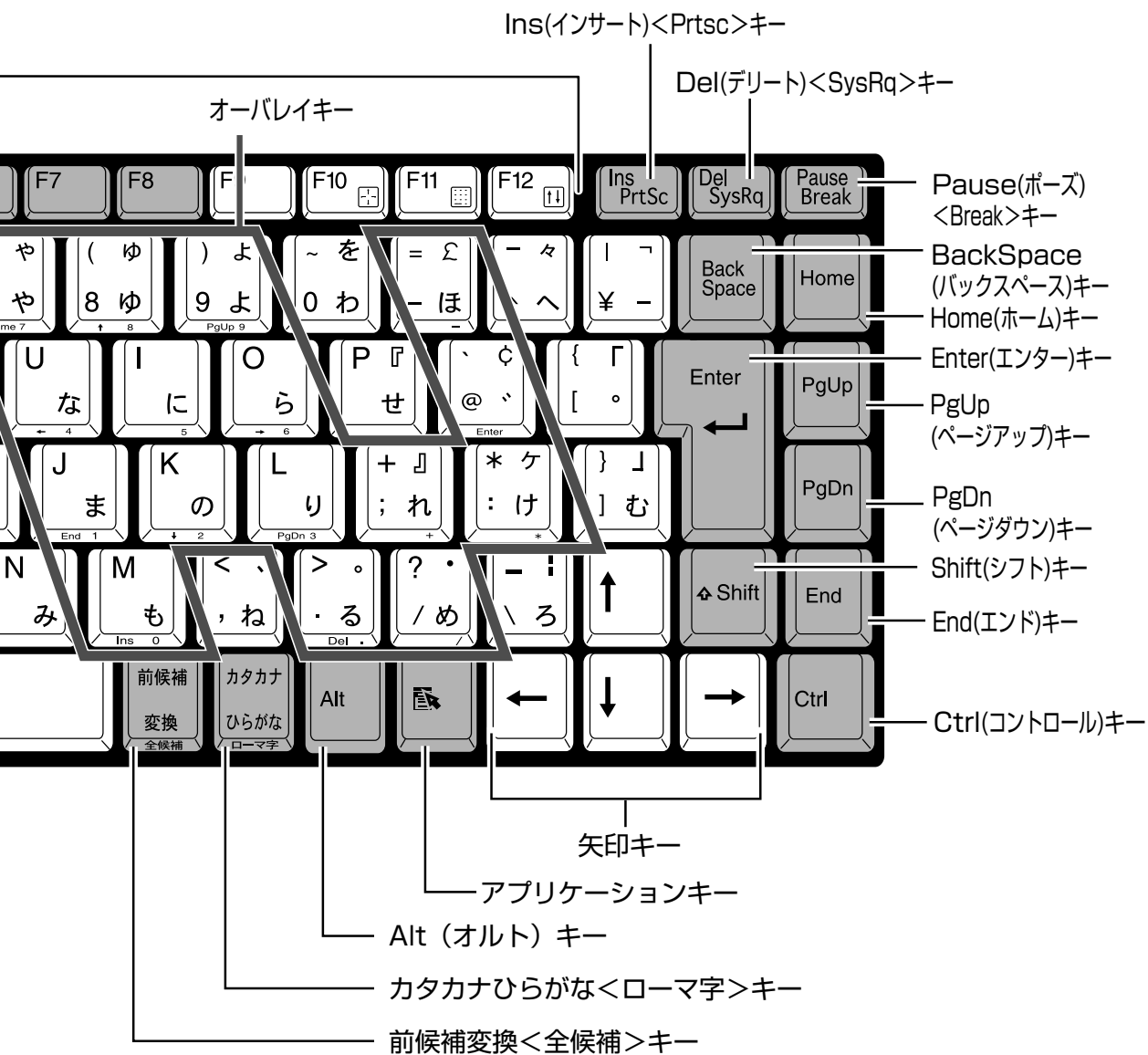
Ctrl(コントロール)キー

矢印キー

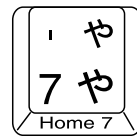
アプリケーションキー

Alt（オルト）キー

カタカナひらがな＜ローマ字＞キー

前候補変換＜全候補＞キー

・キーボードに印刷されている「£」、「¢」、「々」などの文字は、直接入力できません。
お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』を参照してください。

文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを文字キーと呼びます。
文字キーには２～６種類の文字や記号が印刷されています。どの文字や記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。
文字キーに印刷された文字や記号を入力する場合、どのように操作したらいいか、次の文字キーを例に説明します。

入力したい文字や記号	入力操作	内容
左上の文字や記号	Shift キーを押しながら押す	記号やアルファベットの大文字が入力できます（この場合は「'」）。 ☞「本節 - 主なキーの呼びかたと役割」
右上の文字や記号	カナロック状態で Shift キーを押しながら押す	記号、カタカナの促音、拗音が入力できます（この場合は「ャ」）。 ☞ カナロック状態 ➪「本節 - 入力に関する制御キー」
左下の文字や記号	そのまま押す	数字やアルファベットの小文字が入力できます（この場合は「7」）。
右下の文字や記号	カナロック状態のときに押す	カタカナや記号が入力できます（この場合は「ヤ」）。 ☞ カナロック状態 ➪「本節 - 入力に関する制御キー」
前面左の文字や記号	アロー状態のときに押す	カーソル制御キーとして使えます（この場合は Home キー）。 ☞ アロー状態 ➪「本節 - Fn キーを使った特殊機能キー」
前面右の文字や記号	数字ロック状態のときに押す	テンキーとして使えます（この場合は「7」）。 ☞ 数字ロック状態 ➪「本節 - Fn キーを使った特殊機能キー」

・~（チルダ）を入力する場合は、Shift キー＋ ー々/^へ キーを入力してください。
　Shift キー＋ ~を/0わ キーを押しても入力できません。
・＼（バックスラッシュ）を入力すると、「¥」と表示されます。

主なキーの呼びかたと役割

キー	内容
Esc（エスケープ）	操作を取り消すときに使います。
Shift（シフト）	アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。
Alt（オルト） Ctrl（コントロール）	他のキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
（ウィン）	Windowsのスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
Space（スペース）	空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。
（アプリケーション）	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
Fn（エフエヌ）	オーバレイキーを使用するときに使います。また、ファンクションキーとの組み合わせにより特殊機能を実行するときに使用します。
Ins（インサート）	文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときに使います。
Del（デリート）	文字を削除するときなどに使います。
→ ← ↑ ↓（矢印）	カーソル移動などに使います。
Enter（エンター）	作業を実行するときなどに使います。
F1～F12（ファンクション）	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
98 Ctrl＋CapsLock 英数 2000 NT Ctrl＋Shift＋カタカナひらがな	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
Shift＋CapsLock 英数	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。

カナロックや大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。
ロック状態の優先度は、カナロック状態＞大文字ロック状態です。

Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
Fn + F1 〈インスタントセキュリティ機能〉	表示画面をオフにし、キーボードやマウスから入力できなくします。 解除するには、パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、Enter キーを押します。 パスワードを設定していない場合は Enter キーまたは F1 キーを押します。 ☞ パスワードについて ➪「6章 2 パスワードセキュリティ」
Fn + F2 〈省電力モードの設定〉	98 2000 Fn + F2 キーを押すと、設定されている「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードが反転表示されます。 Fn キーを押したまま、F2 キーを押すたびに省電力モードが切り替わります。 NT 省電力モードを切り替えます。 →フルパワー→ハイパワー→ミディアムパワー→ローパワー→ユーザ設定
Fn + F3 〈電源 ON ／ OFF 時に使用する機能の選択〉	98 2000 電源を切る状態（電源オフ、スタンバイ、休止状態）を切り替えます。Fn キーを押したまま、F3 キーを押すたびに表示が切り変わります。 電源スイッチを押すと、選択した状態で電源が切れます。 NT レジューム機能（サスペンド）を有効にするか無効にするかを選択します。 →Boot→サスペンド／レジューム（メモリ）
Fn + F4 〈アラーム音量の調節〉	アラーム音量を調節します。ビープ音で音量を知らせます。 Fn キーを押したまま、F4 キーを押すたびに音量が変わります。 →Off→小→中→大
Fn + F5 〈表示装置の切り替え〉	表示装置を切り替えます。 ☞ 表示装置の切り替えについて ➪「4章 10 テレビへの接続」 ➪「4章 12 CRT ディスプレイの接続」
Fn + F10（アロー状態） 〈オーバレイ機能〉	キートップ前面左側に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。 アロー状態を解除するには、もう1度 Fn + F10 キーを押します。

Fn+F11（数字ロック状態）〈オーバレイ機能〉	キートップ前面右側に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。 数字ロック状態を解除するには、もう1度Fn+F11キーを押します。
Fn+F12 （スクロールロック状態）	一部のアプリケーションで↑↓←→キーを画面スクロールとして使用できます。 ロック状態を解除するには、もう1度Fn+F12キーを押します。

田キーを使ったショートカットキー

田キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
田+R	［ファイル名を指定して実行］画面を表示する
田+M	すべてをアイコン化する
Shift+田+M	すべてのアイコン化を元に戻す
田+F1	Windowsヘルプを起動する
田+E	Windowsエクスプローラを起動する
田+F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl+田+F	他のコンピュータを検索する
田+Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
田+Break	［システムのプロパティ］画面を表示する

特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	内　　容
システムの再起動	Ctrl ＋ Alt ＋ Del	98 プログラムの強制終了画面が表示されます。もう 1 度押すと、システムを再起動します。 2000 NT Windows のセキュリティ画面が表示されます。
画面コピー	Fn ＋ Ins	現在表示中の全体画面をクリップボードにコピーします。
	Alt ＋ Fn ＋ Del	現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

・ Windows 98の場合、システムが操作不能になったとき以外は Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

日本語入力システム

本製品には、日本語入力システム MS-IME が標準装備されています。
MS-IME のバージョンはお使いになるシステムによって異なります。

MS-IME2000 ： Windows 2000 モデル
すべてのシステムのアプリケーションモデル
MS-IME98 ： Windows 98 モデル
MS-IME97 ： Windows NT モデル

日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム MS-IME を起動するには、次の方法があります。

●〈MS-IME2000 ／ MS-IME98〉　〈MS-IME97〉

ここをクリックし、メニューから「ひらがな」または「全角ひらがな」を選択する

● タスクバーのアイコン（ ）をクリックし、「日本語入力-オン」を選択する
● 半／全 キー（MS-IME2000 の場合）または Alt + 半／全 キー（MS-IME98 ／ 97 の場合）を押す

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。

入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力などに設定を変更する場合は、ツールバーの［プロパティ］アイコン（ または ）をクリックし、［全般］タブで「ローマ字入力／かな入力」の設定を変更してください。
ローマ字入力とかな入力の切り替えは次の方法でも切り替えられます。

98 ：Alt ＋ カタカナひらがな キー
2000 NT ：Ctrl ＋ Shift ＋ カタカナひらがな キー

漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、Space キーを押します。
目的の漢字ではない場合は、もう 1 度 Space キーを押して、他の漢字を表示します。
さらに Space キーを押すと、候補の一覧が表示されます。
↑ ↓ キーで選択し、Enter キーを押します。

☞ MS-IME の使いかた ➪『MS-IME のオンラインヘルプ』

・ツールバーの［ヘルプ］アイコン（ または ）をクリックすると、MS-IME のオンラインヘルプを見ることができます。

7 サウンド

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

☞ スピーカについて ➪「本節 1 スピーカの音量を調整する」
☞ システムスピーカについて ➪「本節 2 システムスピーカについて」

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。
サウンド機能はMicrosoft Windows Sound System、およびSound Blaster Proに適合しています。サウンドに関する設定については、あわせて『Windowsのヘルプ』や『ヤマハAC-XGオーディオミキサのヘルプ』をご覧ください。

ボリュームダイヤルで調整する

本体右側面のボリュームダイヤルで調整します。
音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。

☞ ボリュームダイヤル ➪「本章 1 各部の名称」

［音量］アイコンから調整する

タスクバーの［音量］アイコン（🔈）からスピーカの音量を調整することもできます。

1 タスクバー上の［音量］アイコン（🔈）をクリックする

次の画面が表示されます。

2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。［ミュート］をチェックすると消音になります。

・使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
- ・本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・使用しているアプリケーションソフトの設定を変える
- ・外部マイクをスピーカから離す

ボリュームコントロールで調整する

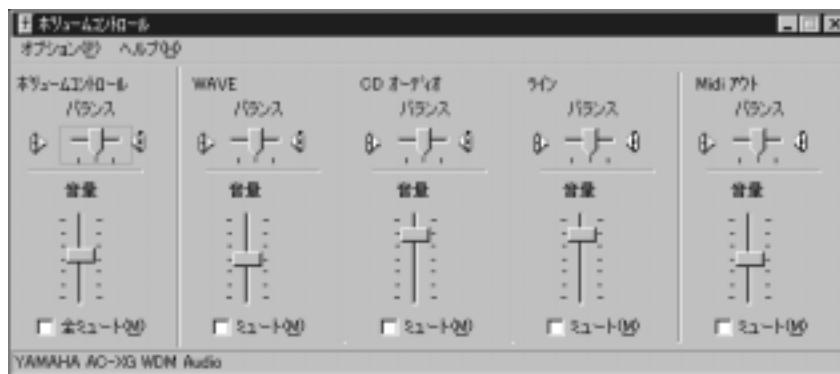
1 タスクバー上の［音量］アイコン（ ）をダブルクリックする
または、

98 2000

［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［エンターテイメント］-［ボリュームコントロール］をクリックする

NT

［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［マルチメディア］-［ボリュームコントロール］をクリックする

ボリュームコントロールが起動します。

（表示例）

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。ミュートをチェックすると消音となります。

詳しくは、『ボリュームコントロールのヘルプ』をご覧ください。

❷ システムスピーカについて

パソコンのハードウェアの状態を知らせるシステムスピーカがあります。システムスピーカを鳴らす／鳴らさないの設定ができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。また、あわせて、音量の調整もできます。

設定方法

Windows 98 ／ 2000 の場合

1 ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする

2 ［東芝 HW セットアップ］をダブルクリックする

3 ［Hardware Alarm］タブで設定する

鳴らす場合は［System Beep］をチェックします。
音量は［Alarm Volume］のスライダーバーで調整します。

Windows NT の場合

1 ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする

2 ［省電力］をダブルクリックする

3 利用する省電力モードを選択し、［詳細設定］ボタンをクリックする

4 ［その他］タブで設定する

鳴らす場合は［システムビープを鳴らす］をチェックします。
音量は［スピーカ音量］のスライダーバーで調整します。

・システムスピーカの音量の調整は、Fn＋F4キーを使用して変更することもできます。
☞「本章 6-Fnキーを使った特殊機能キー」

2

電源を入れて切るまで

電源を入れてパソコンが、システムを組み込むまでを、
「パソコンの起動」といいます。
本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

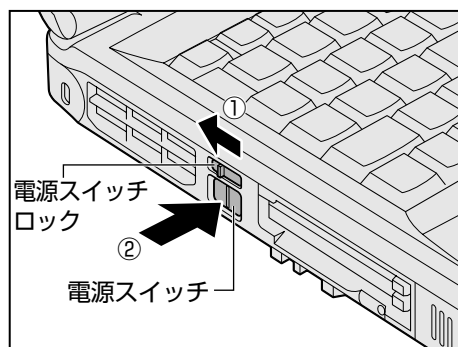
電源を入れる

注 意 ・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。

1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認する

2 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる

3 電源スイッチロックを解除し①、Power LEDが点灯するまで、電源スイッチを押す②

Power LEDが緑色に点灯します。パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。

スタンバイ機能（98 2000）、サスペンド機能（NT）、休止状態（98 2000）を実行した場合は、電源を切る直前の状態が再現されます。
これらの機能を実行しない場合には、Windowsの起動画面が表示されます。

・スタンバイ／サスペンド機能、休止状態とは、次に電源を入れたとき、終了した時点から作業が行える機能です。
スタンバイ／サスペンド機能はデータをメモリに保持し、休止状態はハードディスクに保持します。
・スタンバイ／サスペンド機能を実行して電源を切るとPower LEDがゆっくりとオレンジ色に点滅します。
・Windows 98の場合は、初めて電源を入れたとき、[Windowsセットアップの確認] の画面が表示されます。Windows 2000／NTの場合は、[Windows 2000セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。手順に従って、Windowsのセットアップを行なってください。
☞ セットアップの方法 ➪「本章 2 初めて電源を入れるとき」

4 電源スイッチロックを有効（右側）にする

操作中に誤って電源スイッチを押してしまわないように、電源スイッチロックを必ず有効にしておいてください。

パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

```
Password=
```

設定したパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

・スタンバイ機能（98 2000）、サスペンド機能（NT）、休止状態（98 2000）を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
・パスワードの入力ミスを3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。
☞ パスワードについて ➪「6章 2 パスワードセキュリティ」

次のメッセージが表示される場合

次のようなメッセージが表示されることがあります。主なメッセージとその対処方法を示します。

（1）
```
Bad ×××× ××××
```

この場合はF 1キーを押して、セットアップ画面を表示させます。Homeキーを押して標準に設定してください。
End キーを押して終了し、Y キーを押して再起動してください。標準設定の状態になります。

☞ セットアップ画面について
➪「6章 1-1 セットアッププログラムを起動する方法」

（2）
```
WARNING:×××××
```

この場合は、Enter キーを何回か押してください。

（3）
```
WARNING RESUME FAILURE
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.
```

スタンバイ機能（98 2000）、サスペンド機能（NT）によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。
この場合は、どれかキーを押してください。

（4）
```
WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.
```

休止状態（98 2000）によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る直前の状態は再現できません。
この場合は、どれかキーを押してください。

（5）
```
Previous resume from hibernate failed.
Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N]?
```

休止状態（2000）によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る直前の状態は再現できません。
Yキーを押してください。もう1度同じメッセージが表示された場合は、Escキーを押してください。

初めて電源を入れるとき

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windowsが使えるようにするために、「Windowsセットアップ」という操作が必要です。
1度Windowsのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにWindowsを使用することができます。
本製品には、次のモデルがあります。

・Windows 98モデル
・Windows 2000／NTモデル

セットアップ方法については、お客様がお使いになるシステムの手順をご覧ください。

注 意　・ご購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windowsのセットアップ時にLANケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LANケーブルをはずした状態でWindowsのセットアップを行なってください。

・「Windowsセットアップ」はACアダプタと電源コードのみを接続して行なってください。PCカード、プリンタ、マウス、増設メモリなどの周辺機器は取りはずしておいてください。
☞ 電源の接続方法について ➪「1章 3-1 電源に接続する」
「Windowsセットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされているWindowsやアプリケーションを使用することはできません。
・「Windowsセットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。

・「Windowsセットアップ」を行う前に、30分以上キーを押さない（アキュポイントⅡの操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面に表示するには、Shiftキーを押すか、アキュポイントⅡを動かしてください。
・「Windowsセットアップ」は、カスタム・リカバリCD（98）またはリカバリCD（2000 NT）でシステムの復元を行なった場合も必要です。

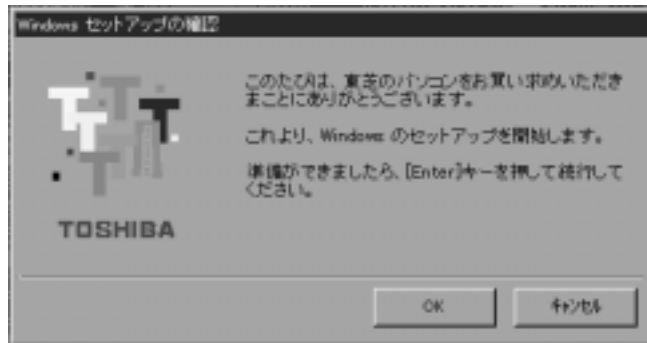
1 Windows 98のセットアップ

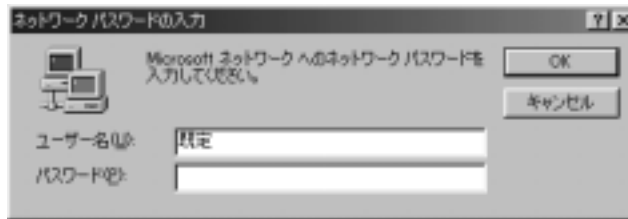
Windows 98のセットアップでは、次のことを行います。
セットアップは15～30分程で終了します。

● ユーザー情報の登録
名前とふりがな（省略可能）を登録します。
● マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windowsのライセンス）への同意
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windowsを使用することはできません。
● 日付と時刻の設定
[日付と時刻のプロパティ] 画面でパソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

・Product Keyがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守が受けられなくなります。

セットアップの操作手順

初めて電源を入れると、［Windows セットアップの確認］画面が表示されます。

1 Enter キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。
パソコンが再起動し、［ネットワークパスワードの入力］画面が表示されます。

2 ユーザー名を入力する

Shift ＋ Tab キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。
Del キーを押して「既定」を削除します。
ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が入力できます。
ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。半／全 キー（MS-IME2000 の場合）または Alt ＋ 半／全 キー（MS-IME98 の場合）を押してください。

・ご購入時の MS-IME のバージョンはお使いになるモデルによって異なります。システムの復元後の場合は、MS-IME98 になります。
☞「1 章 6- 日本語入力システム」

・ひらがなや漢字の入力のしかた
標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。
例：“なかた”または“中田”と入力する場合

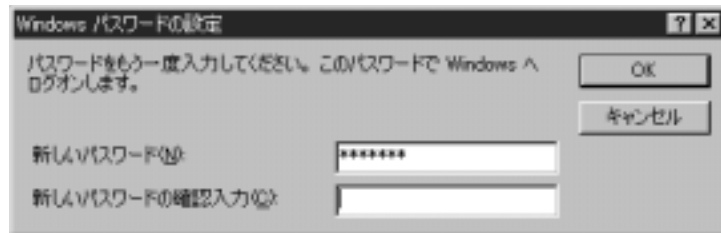
1 N A K A T A とキーを押す
“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、Enter キーを押す
“なかた”で確定されます。
漢字に変換する場合は Space キーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enter キーを押す
Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、Tab キーを押します。
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4〜8文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

<table>
<tr><td rowspan="3">使用できる文字</td><td>アルファベット（半角）</td><td>A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z</td></tr>
<tr><td>数字（半角）</td><td>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9</td></tr>
<tr><td>記号（単独のキーで入力できる文字の一部）</td><td>－^@［］；：,./　（スペース）</td></tr>
<tr><td>使用できない文字</td><td colspan="2">・全角文字（2バイト文字）
・日本語入力システムの起動が必要な文字
【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など
・単独のキーで入力できない（入力するときにShiftキーなどを使用する）文字
【例】｜（バーチカルライン）、&（アンド）、~（チルダ）など
・¥（エン）
¥ キーや \ キーを押すと¥が入力されます。</td></tr>
</table>

入力したパスワードは「＊＊＊＊」で表示されます。
パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、BackSpaceキーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、［OK］ボタンをクリックします。
［Windows パスワードの設定］画面が表示されます。

4 **登録したパスワードをもう1度入力し、[OK] ボタンをクリックする**

[ようこそ] 画面が表示されます。

入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう1度入力し直してください。

メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

1. Delキーで［新しいパスワードの確認入力］のパスワードをすべて削除する
2. Shift キーと Tab キーを同時に押す
   カーソルが［新しいパスワード］に戻ります。
3. Delキーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
4. 新しいパスワードを入力する
5. Tab キーを押す
6. ［新しいパスワードの確認入力］に同じパスワードを入力する
7. ［OK］ボタンをクリックする

5 **Escキーを押す**

MS-IMEのチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合はMキーを押してください。
入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了した後に、[Windows 98へようこそ] 画面が表示されます。

6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、Tab キーを押します。
ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システム（MS-IME）を起動します。
半／全キー（MS-IME2000の場合）または Alt＋半／全キー（MS-IME98の場合）を押してください。

7 ［次へ］ボタンをクリックする

［モデムを使って接続する］画面が表示されます。
ここではインターネット（モデム）への接続は行いません。
インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ終了後に行えます。

8 ［スキップ］ボタンをクリックする

［ダイヤルのキャンセル］画面が表示されます。

9 画面の［はい］をチェック（左側の○印をクリック）して、［次へ］ ボタンをクリックする

［Windows ユーザー使用許諾契約］画面が表示されます。
契約内容を、必ずお読みください。
表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、PgUpキー、PgDnキーを使って画面を動かしてください。
なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

10 画面の［同意する］をチェック（左側の○印をクリック）して、［次へ］ ボタンをクリックする

［セットアップの完了］画面が表示されます。

11 ［完了］ボタンをクリックする

［日付と時刻のプロパティ］画面が表示されます。

12 ［日付］と［時刻］が正しく設定されているか確認する

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、［適用］ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

13 ［タイムゾーン］で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

14 ［閉じる］ボタンをクリックする

［日付］、［時刻］、［タイムゾーン］を変更した場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。
Windowsのセットアップが終了し、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。

・東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ➪「本節 4 ユーザ登録をする」

Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

2 Windows 2000のセットアップ

Windows 2000／NTモデルでは、ご購入時はWindows 2000が標準システムとなっています。

Windows 2000のセットアップでは、次のことを行います。

● マイクロソフト 使用許諾契約書（Windowsのライセンス）への同意
マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、［同意する］を選択しないと、Windowsを使用することはできません。

● ユーザー情報の登録
名前、会社名または組織名（省略可能）を登録します。

● コンピュータ名の指定
使用するコンピュータ名とAdministratorのパスワードを入力します。
コンピュータ名は自動で作成されます。変更することもできます。
コンピュータ名の付けかたに関しては、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

● 日付と時刻の設定
［日付と時刻の設定］画面でパソコンの日付を時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

● ネットワークの設定
ワークグループまたはドメイン名の設定を行います。
ネットワークの設定は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

お願い

・プロダクトキーがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守が受けられなくなります。

セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

・初めて電源を入れると、セットアップイメージが正しいかを確認するために、「CHKDSK」が実行されます。
ファイルシステムの異常が検出されたわけではありませんので、問題なくご使用いただけます。

初めて電源を入れると、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。

1 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] 画面が表示されます。
契約の内容を必ずお読みください。
表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか PgUp キー、PgDn キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

2 画面下部の［同意します］をチェックして［次へ］ボタンをクリックする

・［同意しません］を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

［ソフトウェアの個人用設定］画面が表示されます。

3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 Tab キーを押します。

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 N A K A T A とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、Enter キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は Space キーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enter キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

4 ［次へ］ボタンをクリックする

［コンピュータ名とAdministratorのパスワード］画面が表示されます。

5 コンピュータ名とAdministratorのパスワードを入力する

コンピュータ名は自動で作成されます。変更する場合は、半角英数字で15字以内の名前を入力してください。
コンピュータ名の付けかたに関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administratorと呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。
　例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

6 ［次へ］ボタンをクリックする

［日付と時刻の設定］画面が表示されます。

7 ［日付と時刻］の設定をする

日付と時刻を確認します。
タイムゾーンで「(GMT+09:00）大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。
「(GMT+09:00）大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

8 ［次へ］ボタンをクリックする

［ネットワークの設定］画面が表示されます。

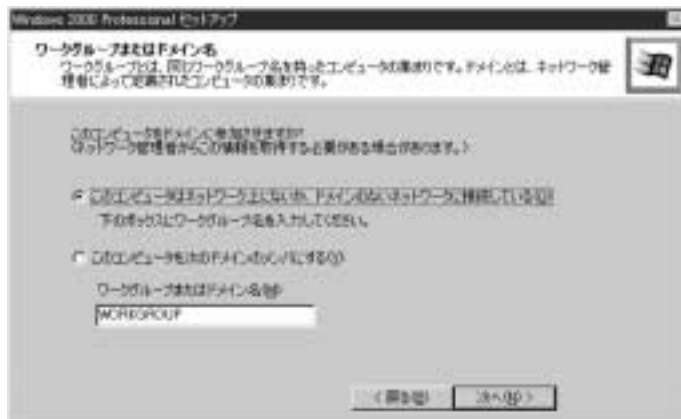
9 ネットワークの設定をする

ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。

・標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
・カスタム設定：手動でネットワークコンポーネントを構成することができます。

・お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

10 ［次へ］ボタンをクリックする

［ワークグループまたはドメイン名］画面が表示されます。

11 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。
選択後、［ワークグループまたはドメイン名］にワークグループ（ドメイン）名を入力してください。

・お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ（ドメイン）名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

12 ［次へ］ボタンをクリックする

設定の保存後、［Windows 2000 セットアップウィザード完了］画面が表示されます。

13 ［完了］ボタンをクリックする

再起動します。再起動後に［ネットワーク識別ウィザードの開始］画面が表示されます。
ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。

14 ［次へ］ボタンをクリックする

［このコンピュータのユーザー］画面が表示されます。

15 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

● ［ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある］

…指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。

● ［常に次のユーザーがこのコンピュータにログオンすると仮定する］

…指定したユーザで自動的にログオンします。
ここで指定できるユーザは手順3で入力した名前、あるいはAdministratorです。
▼ボタンをクリックして選択してください。

16 ［次へ］ボタンをクリックする

［ネットワーク識別ウィザードの終了］画面が表示されます。

17 ［完了］ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 15 で［ユーザーはこのコンピュータを使用するとき…］を選択した場合、［Windows へのログオン］画面が表示されます。Administrator パスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックすると、Administrator でログオンし、［Windows 2000 の紹介］画面が表示されます。
手順 15 で［常に次のユーザーがこのコンピュータに…］を選択した場合、指定されたユーザ（Administrator または例：中田）で自動的にログオンし、［Windows 2000 の紹介］画面が表示されます。

・［Windows 2000 の紹介］の下部にあるチェックボックス（スタートアップ時にこの画面を表示）をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 2000 が起動したときは［Windows 2000 の紹介］は表示されません。
☞［Windows 2000 の紹介］画面を再表示する方法
➪［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［はじめに］をクリックする
・次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
C ドライブ：NTFS システム
・東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ➪「本節 4 ユーザ登録をする」

Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、『クイックスタートガイド』、または［スタート］-［ヘルプ］をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

3 Windows NT のセットアップ

Windows 2000／NT モデルでは、Windows 2000 が標準システムとなっています。Windows NT をお使いになる場合は、リカバリ CD で Windows NT システムを復元してください。

Windows NT のセットアップでは、次のことを行います。

● ユーザー情報の登録
　名前と組織名（省略可能）を登録します。
● マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
　マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、［同意する］を選択しないと、Windows を使用することはできません。
● コンピュータ名の登録
　ネットワーク上でパソコンを個別に認識するために、コンピュータ名の登録を行います。コンピュータ名の付けかたは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

セットアップ終了後に、Administrator パスワードの設定と、システム修復ディスクの作成を行なってください。

☞「本項 Administrator パスワードの設定／変更」

☞「本項 システム修復ディスクの作成」

セットアップ終了後に、［コントロールパネル］-［日付と時刻のプロパティ］画面の［日付と時刻］タブで、パソコンの日付と時刻の設定を行なってください。

・プロダクト ID がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守が受けられなくなります。

セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

・初めて電源を入れたときと、Windows NT のセットアップ完了後、2 回目の再起動時に、セットアップイメージが正しいかを確認するために、「CHKDSK」が実行されます。
ファイルシステムの異常が検出されたわけではありませんので、問題なくご使用いただけます。

初めて電源を入れると、[Windows2000 セットアップウィザードの開始] の画面が表示されます。

1 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM ドライブが内蔵されていない場合、外付け CD-ROM ドライブ（PA2671UJ、または PA2673UJ）をご使用ください。

☞ 詳細について ⇨「7 章 3 標準システムを復元する」

2 電源スイッチを 5 秒以上押す

電源が切れます。

3 キーボードの[C]キーを押しながら、電源スイッチを押す

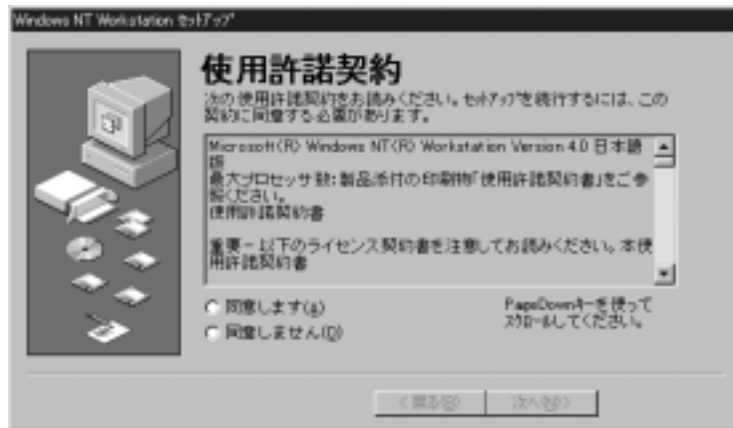
TOSHIBA のロゴが表示されたら[C]キーを離します。
「復元する OS を選択してください」というメッセージが表示されます。

4 Windows NT システムを復元する

「7章 3 標準システムを復元する」の Windows 2000/NT モデルの場合の手順4から操作を行なってください。

復元が完了し、システムが再起動すると、[Windows NT セットアップ]画面が表示されます。

5 [次へ]ボタンをクリックする

[使用許諾契約]画面が表示されます。

マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか PgUp キー、PgDn キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

6 画面下部の［同意します］をチェック（左側の○印をクリック）して［次へ］ボタンをクリックする

・［同意しません］を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

［名前と組織名］画面が表示されます。

7 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 Tab キーを押します。

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 N A K A T A とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、Enter キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は Space キーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enter キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

8 ［次へ］ボタンをクリックする

［コンピュータ名］画面が表示されます。

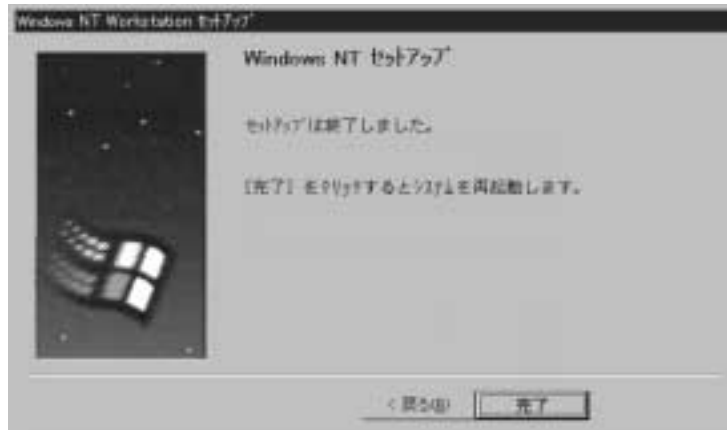
9 コンピュータ名を入力する

コンピュータ名の付けかたに関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

お願い

・コンピュータ名を変更する場合は、セットアップ終了後に Administrator 権限でログオンし、［コントロールパネル］の［ネットワーク］を起動して変更してください。

10 ［次へ］ボタンをクリックする

［Windows NT セットアップ］画面が表示されます。

11 ［完了］ボタンをクリックする

Windows NTのセットアップが完了しました。パソコンが再起動し、［ようこそ］画面が表示されます。

この画面の［新機能の説明］、［次のヒント］などのボタンをクリックすることによりWindows NTの概要を知ることができます。
Windows NTをはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。

お願い

・［コントロールパネル］の［日付と時刻］アイコンをダブルクリックし、［日付と時刻］タブで現在の日付と時刻の設定を確認してください。

メモ

・［ようこそ］の下部にあるチェックボックス（Windows NTを次に起動するときも、このダイアログを表示する）をクリックしてチェックを解除すると、次にWindows NTが起動したときは［ようこそ］は表示されません。
ただし、初期セットアップ完了後の最初のログオン時には、このチェックボックスは表示されません。
☞［ようこそ］ダイアログボックスを再表示する方法 ➪『Windows NTのヘルプ』
・次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
C ドライブ：約8GB、NTFSシステム
ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクアドミニストレータを使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。
「ディスクアドミニストレータ」の詳細は、『Windows NTのヘルプ』をご覧ください。
・東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ➪「本節 4 ユーザ登録をする」

Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、［スタート］-［ヘルプ］をクリックして、『Windowsのヘルプ』をご覧ください。

Microsoft Office(*1)のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office (*1) は、以上の手順ではインストールされません。
Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、インストールしてください。

（*1）Microsoft® Office 2000 Personal

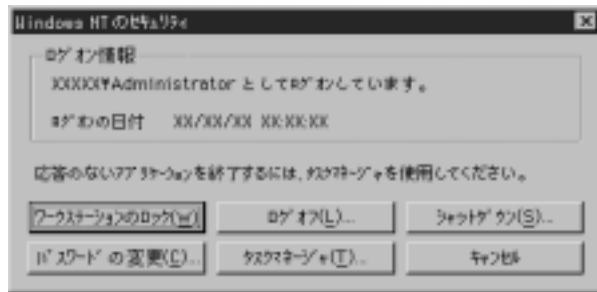
Administrator パスワードの設定／変更

セットアップ直後の初期状態では、Administrator のパスワードは設定されていません。次の手順に従って、パスワードを設定してください。
セットアップ作業から継続して設定する場合は、手順 1 と 4 は必要ありません。

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

1 Administrator でログオンする

2 Ctrl + Alt + Del キーを押す

［Windows NT のセキュリティ］画面が表示されます。

3 ［パスワードの変更］ボタンをクリックする

［パスワードの変更］画面が表示されます。

4 ［古いパスワード］ボックスに、現在使用しているパスワードを入力する

初期設定ではパスワードが設定されていないので、空欄のままにしておいてください。
入力したパスワードは＊（アスタリスク）で表示されます。

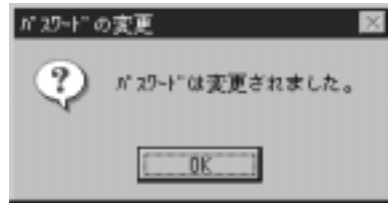
5 ［新しいパスワード］ボックスに、新しく設定するパスワードを入力する

入力したパスワードは＊（アスタリスク）で表示されます。

6 ［新しいパスワードの確認入力］ボックスに、同じパスワードを入力する

入力したパスワードは＊（アスタリスク）で表示されます。

7 ［OK］ボタンをクリックする

パスワードが正しく設定されると、次の画面が表示されます。

8 ［OK］ボタンをクリックする

［Windows NT のセキュリティ］画面に戻ります。

9 ［キャンセル］ボタンをクリックする

新しいパスワードは、次回から有効になります。

システム修復ディスクの作成

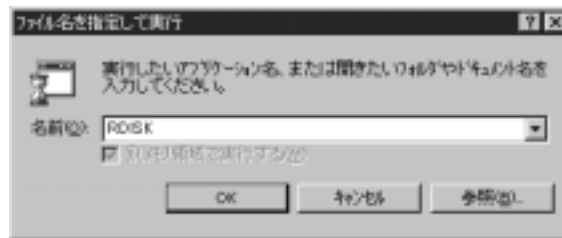
システム修復ディスクを作成しておくと、システムファイルが破損した場合に、セットアップが完了した直後の状態にシステムを復元することができます。

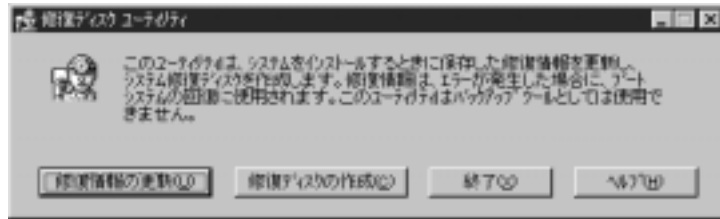
2HD 形式／ 1.44MB でフォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚ご用意ください。

・システム修復ディスクを作成すると、フロッピーディスクに入っているデータはすべて消えてしまいます。作業の前に、フロッピーディスクに何も保存していないことをご確認ください。

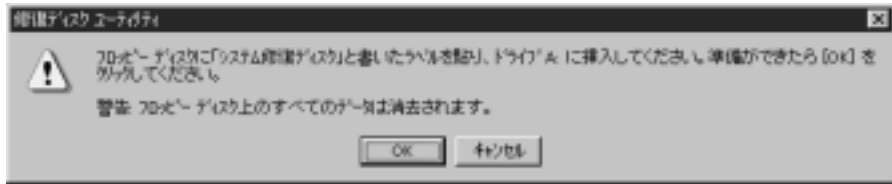
1 ［スタート］-［ファイル名を指定して実行］をクリックする

［ファイル名を指定して実行］画面が表示されます。

2 ［名前］ボックスに「RDISK」と入力する

3 **［OK］ボタンをクリックする**

［修復ディスクユーティリティ］画面が表示されます。

システム修復ディスクの詳細については、［ヘルプ］ボタンをクリックして、ヘルプをご覧ください。

4 **［修復ディスクの作成］ボタンをクリックする**

次のメッセージが表示されます。

5 **2HD形式/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする**

6 **［OK］ボタンをクリックする**

システム修復ディスクの作成が始まります。
システム修復ディスクの作成が終了すると、次のメッセージが表示されます。

7 **［OK］ボタンをクリックする**

［修復ディスクユーティリティ］画面に戻ります。

8 **［終了］ボタンをクリックする**

9 **フロッピーディスクドライブから、システム修復ディスクを取り出す**

システム修復ディスクは、分かりやすいようにラベルなどを貼り、大切に保管してください。

☞ システム修復ディスクについて
➪『システム修復ユーティリティのヘルプ』、『Windowsのヘルプ』

ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。いずれもインターネットを使って登録する場合は、モデムなどが必要です。また、インターネットをご利用になるにはプロバイダとの契約が必要です。
LAN を使ってインターネットをご利用になる場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm

マイクロソフト社へのユーザ登録

同梱されているはがきで登録できます。
Windows 98／2000 の場合、インターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のように登録します。

● 98
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［Windows へようこそ］で［今すぐ登録］をクリックする

● 2000
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［はじめに］で［今すぐ登録］をクリックする

3 電源を切る

パソコン本体の電源を切るには、次の方法があります。
電源を切るときに、次の機能が実行できます。

・シャットダウン機能
・スタンバイ機能（98 2000）
・サスペンド機能（NT）
・休止状態（98 2000）

これらの機能を実行して電源を切るには、いくつかの方法があります。

シャットダウン機能

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切ります。

スタンバイ／サスペンド機能

電源を切る直前の状態をメモリに保持する機能です。
次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
休止状態に比べて、状態の再現がすばやく行われます。
しかし、休止状態実行時よりもバッテリを消耗しますので、AC アダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

お願い

・スタンバイ／サスペンド機能を実行中にバッテリを使い切ったとき、またはバッテリパックを取りはずしたときは、スタンバイ／サスペンド機能が無効になります。また、データが消失するおそれがあります。

休止状態

＊Windows NT にはこの機能はありません。
電源を切る直前の状態をハードディスクに保存する機能です。
スタンバイ／サスペンド機能と同様に、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
休止状態を実行するには、あらかじめ設定が必要です。
ご購入時は有効に設定されています。

☞ シャットダウン、スタンバイ／サスペンド、休止状態
➪「5 章 1 消費電力を節約する」

注意

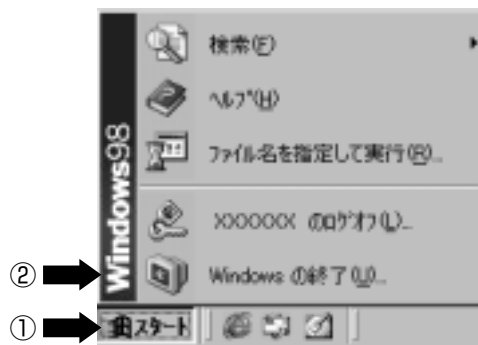
・Disk LED または FDD/CD-ROM / LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンや CD-ROM ドライブ／ DVD-ROM ドライブのイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ／ DVD-ROM ドライブが壊れるおそれがあります。
・パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。故障の原因になります。

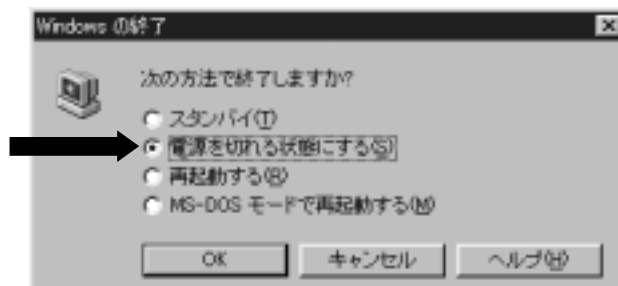
・必ず手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因となることがあります。
・周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
・休止状態（98 2000）が実行されている間は、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk LEDが点灯し続けます。LEDが点灯中は、バッテリパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。
・スタンバイ／サスペンド機能、休止状態を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。
・スタンバイ／サスペンド機能を実行して電源を切った状態でバッテリパックを取りはずすと、データが消失します。

① Windows 98の場合

方法1 －［スタート］メニューからWindowsを終了する（シャットダウン機能）

1 データを保存し、アプリケーションを終了する

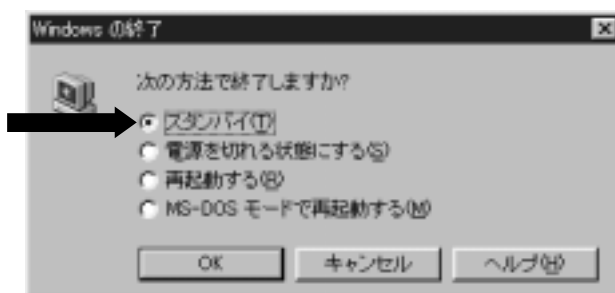
2 ［スタート］①-［Windowsの終了］②を選択する

（表示例）

3 ［電源を切れる状態にする］がチェックされていることを確認し、［OK］ボタンをクリックする

・この方法で電源を切るとスタンバイ機能や休止状態は実行されません。

方法2 －［スタート］メニューからスタンバイ機能を実行する

1 ［スタート］①-［Windowsの終了］②を選択する

（表示例）

2 ［スタンバイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。

・スタンバイ機能を実行すると、休止状態実行時よりバッテリの保持時間は非常に短くなります。バッテリ駆動で使用する場合は、休止状態を使用することをおすすめします。

方法３－［スタート］メニューから休止状態を実行する

あらかじめ［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェックして、休止状態を有効にしておきます。

1 ［スタート］①-［休止状態］②を選択する

休止状態を実行して終了します。
［スタート］メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。

（表示例）

方法４－電源スイッチを押す

シャットダウン機能、スタンバイ機能、休止状態を実行できます。
あらかじめ、「東芝省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する

［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［電源設定］タブ-利用する省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリック-［動作］タブ-［電源ボタンを押したとき］で、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

＊［電源オフ］がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ➪「5 章 1 消費電力を節約する」

・休止状態を使用するには、［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェックしてください。
・Fn＋F3キーを使用しても、電源スイッチを押したときに実行したい処理を設定できます。
☞ 詳細について ➪「1 章 6-Fnキーを使った特殊機能キー」

2 電源スイッチを押す

方法5－ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

シャットダウン機能、スタンバイ機能、休止状態を実行できます。
あらかじめ、「東芝省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理（機能）を選択する

［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［電源設定］タブ-利用する省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリック-［動作］タブ-［コンピュータを閉じたとき］で、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

＊［電源オフ］がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ➪「5章 1 消費電力を節約する」

スタンバイ機能または休止状態を実行して電源を切った場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。

・休止状態を使用するには、［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

② Windows 2000の場合

方法1 ー［スタート］メニューからWindowsを終了する（シャットダウン機能）

1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 ［スタート］①-［シャットダウン］②を選択する

（表示例）

3 ［Windowsのシャットダウン］画面で、ドロップダウンリストから［シャットダウン］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

・この方法で電源を切るとスタンバイ機能や休止状態は実行されません。

方法2 ー［スタート］メニューからスタンバイ機能を実行する

1 ［スタート］①-［シャットダウン］②を選択する

（表示例）

2 ［Windows のシャットダウン］画面で、ドロップダウンリストから［スタンバイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。

・スタンバイ機能を実行すると、休止状態実行時よりバッテリの保持時間は非常に短くなります。バッテリ駆動で使用する場合は、休止状態を使用することをおすすめします。

方法３－［スタート］メニューから休止状態を実行する

あらかじめ［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェックして、休止状態を有効にしておきます。

1 ［スタート］①-［シャットダウン］②を選択する

（表示例）

2 ［Windows のシャットダウン］画面で、ドロップダウンリストから［休止状態］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

休止状態を実行して終了します。

２章 電源を入れて切るまで

方法４ー電源スイッチを押す

シャットダウン機能、スタンバイ機能、休止状態を実行できます。
あらかじめ、「東芝省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 **電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する**

［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［電源設定］タブ-利用する省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリック-［動作］タブ-［電源ボタンを押したとき］で、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

*［電源オフ］がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ➪「5 章 1 消費電力を節約する」

- 休止状態を使用するには、［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェックしてください。
- Fn＋F3キーを使用しても、電源スイッチを押したときに実行したい処理を設定できます。
☞ 詳細について ➪「1 章 6-Fnキーを使った特殊機能キー」

2 **電源スイッチを押す**

方法５ーディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

シャットダウン機能、スタンバイ機能、休止状態を実行できます。
あらかじめ、「東芝省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 **ディスプレイを閉じたときに実行したい処理（機能）を選択する**

［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［電源設定］タブ-利用する省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリック-［動作］タブ-［コンピュータを閉じたとき］で、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

*［電源オフ］がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ➪「5 章 1 消費電力を節約する」

スタンバイ機能または休止状態を実行して電源を切った場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。

- 休止状態を使用するには、［コントロールパネル］-［東芝省電力］-［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェックしてください。

2 **ディスプレイを閉じる**

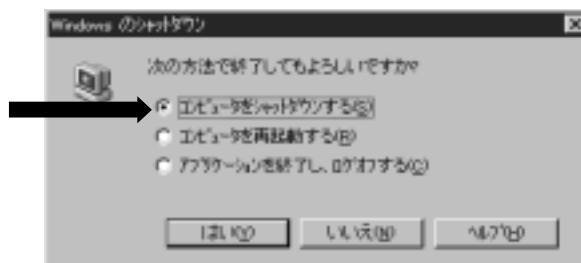
③ Windows NT の場合

方法1－［スタート］メニューからWindowsを終了する（シャットダウン機能）

1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 ［スタート］①-［シャットダウン］②を選択する

（表示例）

3 ［コンピュータをシャットダウンする］がチェックされているか確認して［はい］ボタンをクリックする

・この方法で電源を切ると、サスペンド機能は実行されません。

方法２－［スタート］メニューからサスペンド機能を実行する

1 ［スタート］①-［サスペンド］②を選択する

サスペンド機能を実行して終了します。
［スタート］メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。

（表示例）

・サスペンド機能には、一部制限があります。
☞ サスペンド機能について ➪「5 章 1 消費電力を節約する」、《リリース情報》

方法３－ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

サスペンド機能を実行できます。
あらかじめ、「省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 パネルスイッチ機能を有効に設定する

［コントロールパネル］-［省電力］-［省電力モード］タブ-利用する省電力モードを選択し、［詳細設定］ボタンをクリック-［システム］タブで［サスペンド／レジューム］を選択し、［パネルを閉じた時サスペンド、開いた時レジュームする］をチェックします。

2 ディスプレイを閉じる

サスペンド機能が実行されます。
サスペンド機能を実行して電源を切った場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、電源を切る直前の状態が再現されます。

オンラインマニュアルの起動

本製品には、取扱説明書の他に、オンラインマニュアルがプレインストールされています。便利な設定やプレインストールされているアプリケーションの使いかたなどは、オンラインマニュアルをご覧ください。
オンラインマニュアルの起動方法は、次のとおりです。

1 パソコン本体の電源を入れる

☞「本章 1 電源を入れる」
Windows 画面が表示されます。

2 ［スタート］①-［オンラインマニュアル］②をクリックする

オンラインマニュアルが起動します。
表示の内容はあらかじめインストールされているソフトやお客様の設定により異なります。
＊画面は Windows 98 の表示例です。

・デスクトップ上にある［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックしても、オンラインマニュアルを起動することができます。

（表示例）

オンラインマニュアルの内容

オンラインマニュアルを起動すると、次のような目次が表示されますので、その内容を簡単に説明します。

はじめに	オンラインマニュアル中の表示記号、ユーザ登録などについて
オンラインマニュアルの使いかた	オンラインマニュアルの使いかたについて
ソフトウェア	本製品に用意されている各アプリケーションについて
こんなことがしたい	本製品をいろいろなことに活用する方法について
困ったときは	操作に行き詰まったときに、トラブルを解消する方法について
付 録	製品の仕様、モデム機能について
用語集	知っておいた方が良いパソコン関係の用語について

検索する

［検索］タブで行います。

［検索］タブ .... 探したい語句を入力し、その語句が含まれるページをすべて検索します。